



ちきゅう 地球には、^{きせつ} どうして季節があるの

ばしょ 場所によって、^{うける ねつ りょう} 受ける熱の量がちがう

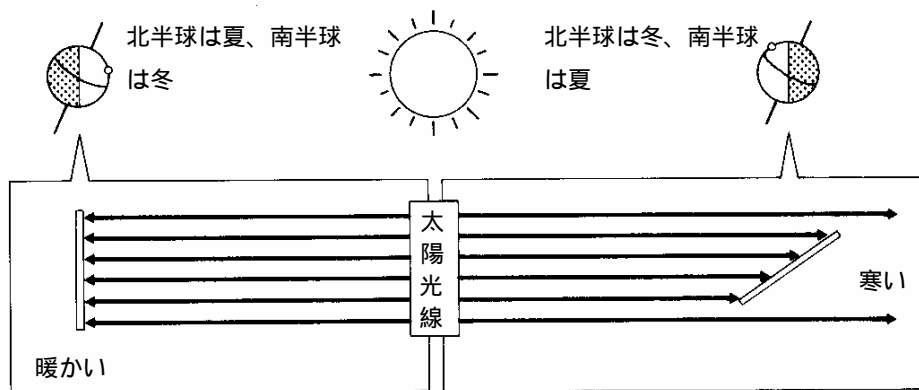
ちきゅう 地球は1日に1回、^{にち かい じぶん まわ} 自分で回っています。これを地球の自転といひます。また、1年かか^{ねん}って太陽の周りを回っています。これを公転といひます。地球は、自転しながら公転してひます。

ところが、^{ちきゅう すこ} 地球は少しかたむいて、^{たいよう まわ こうてん} 太陽の周りを公転してひます。それで、^{ばしょ} 場所によって太陽から受ける熱の量がちがってきます。

きたはんきゅう みなみはんきゅう 北半球と南半球では、^{なつ ふゆ はんたい} 夏と冬が反対

きたはんきゅう 北半球のある時期は、^{じ き たいよう ねつ} 太陽の熱をたくさん受けて、夏になります。このときの ^{みなみはんきゅう} 南半球は ^{たいよう} 太陽から受ける熱が少なく、冬になります。日本が真夏のときは、オーストラリアやニュージーランドは真冬です。

ちきゅう 地球がかたむきながら、1年かかって太陽の周りを公転してひるので、^{きたはんきゅう みなみはんきゅう} 北半球と南半球では、^{なつ ふゆ じ き はんたい} 夏と冬の時期が反対になります。(監修・村山 貢司)



同じ面積にあたる太陽の光の量は、夏は多く、冬は少ない

